

令和7年度 第3回 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画

No.	推奨事業メニュー	交付対象事業の名称	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業始期	事業終期
1	①食料品の物価高騰に対する特別加算	たかはぎ生活応援事業<<第2弾>>(R7実施計画分)	①物価高騰が継続する中で、特に価格上昇が著しい食品の購入に対し、全市民にギフト券を配布することで、市民の経済的負担軽減を図る。なお事業実施にあたってはR7実施計画記載分とR8実施計画記載分を合算して実施するものとする。 ②ギフト券購入費及びその他事務費 ③ギフト券購入費(1000円×10枚(一人当たり))×25,200人=252,000千円 発送事務委託費 4,000千円 郵便料 5,487千円 うちR7実施計画分として 発送事務委託費 4,000千円 ④基準日(令和8年3月31日)時点で市内に住民登録されている者	R8.3	R8.4以降
2	③消費下支え等を通じた生活者支援	たかはぎ生活応援事業(R6補正)	①物価高騰が継続する中で、特に価格上昇が著しい米の購入に対し、全市民にお米ギフト券を配布することで市民の経済的負担軽減を図る。なお、事業実施にあたってはR6補正分とR7予備費分を合算して実施するものとする。 ②お米ギフト券の購入費及びその他事務費 ③お米ギフト券購入費:(470円×6枚(一人当たり))×21,030人=9,846千円 委託料(発送事務):3,782千円 郵便料:5,438千円 ④基準日(令和7年9月25日)時点で市内に住民登録されている者	R7.9	R8.3
3	⑨推奨事業メニュー例よりも更に効果があると判断する地方単独事業	公共施設光熱水費高騰対策支援事業	①物価高騰による市内公共施設の光熱水費増額分を市が負担することで、施設利用料等の増額をせず、幅広い市民の負担軽減を図る。 ②令和3年度と令和7年度を比較した光熱水費増額分 ③令和3年度:35,484千円 令和7年度:56,256千円 増加額:20,772千円 ④光熱水費が増額した市内9施設	R7.4	R8.3
4	③消費下支え等を通じた生活者支援	たかはぎ生活応援事業(R7予備)	①物価高騰が継続する中で、特に価格上昇が著しい米の購入に対し、+AA82:AI82全市民にお米ギフト券を配布することで市民の経済的負担軽減を図る。なお、事業実施にあたってはR6補正分とR7予備費分を合算して実施するものとする。 ②お米ギフト券の購入費及びその他事務費 ③お米ギフト券購入費:(470円×6枚(一人当たり))×4,470人=2,070千円 委託料(対象者抽出):99千円 ④基準日(令和7年9月25日)時点で市内に住民登録されている者	R7.9	R8.3